



## 事業再構築補助金について

井上 秀二 徳島県よろず支援拠点サブ・チーフコーディネーター

中小、零細企業者のあらゆる経営上の悩みに対応するため、(公財)とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。今月は井上コーディネーターが紹介します。

徳島県よろず支援拠点サブ・チーフコーディネーターの井上です。今回は関心が高い事業再構築補助金について第1回公募締め切り時点での解説や雑感を書きます。

### ●事業再構築補助金について（噂話も交えて、真意のほどは?）

このよろず支援拠点便りが掲載されるころ（原稿時点は6月1日）には第1次公募の採択発表、第2次公募の締め切りが終了していると思います。採択になった方、捲土重来を期する方、第3次公募を申請する方など悲喜こもごもかもしれません。

事業再構築補助金は令和2年度第3次補正予算の目玉として1兆1,485億円の巨額予算で令和3年4月から公募開始となりました。（年度内5回申請が可能、採択は1回）通常枠で60百万円（補助率2/3、事業費は90百万円以上。）である事、新築建物が対象経費となることなどこれまでのものづくり補助金と比べても有利な補助金となっているため、公募開始前から関心が高く、4月30日の公募締め切り時にはサーバーがダウンして申請できない状況となりました。（結局締め切りがGW明けまで延期。私がセミナーで予告していたとおりになってしまいました。）初めての補助金であり、事務局に電話しても繋がらない、事務局の担当者によって見解が分かれるなどいろんな噂を聞きました。第1回申請は期間が実質半月にもかかわらず、申請数は全国で22,231件、補助事業申請額は5,700億円で、新分野展開が申請全体の約7割らしいです。採択率が現時点ではわかりませんが、第2回申請も多大な件数が申請になると思われますので早めの申請をお勧めします。公募要領や添付資料が刻々と変更になっている現状を鑑みると締め切り5日前から3日前くらいに申請するのがベストでないかと考えます。

東京でまとめて審査していると思いますが、審査する側も大変だと思います。6月中旬には採択発表予定なので（審査期間実質1ヶ月?）審査は1件あたり何分掛けて見ているのかわかりませんが、物理的に時間は掛けられないと思うので申請者の思いがどこまで伝わるのかは微妙かなと思います。

### ●第1次申請書確認雑感

#### 1. 申請金額

よろず支援拠点や私が個人で支援した中では、大きな案件（総事業費1億円以上）と緊急事態宣言枠（同3百万円～15百万円）の極端な結果となりましたが、どちらかという大きな案件が多かったような気がします。よろず支援拠点全体では20件ほど申請内容のブラッシュアップをさせていただきました。金融機関や商工会議所経由の案件もあり、スタンダードが確立されていない中、支援機関も手探りの状態で対応していることがわかりました。（私やよろず支援拠点ももちろん、同じ状況での支援でした。）途中で公募要領が何回も変更となり、また指針に対する考え方や売上高減少を証明する書類に税理士の証明が必要である、添付する書類が任意であり内容的に曖昧であるなど申請終了後もはたしてこれでいいのかわからないような支援で申請者の皆様にも多大なご迷惑をおかけ致しました。第1回目の申請を受けて、よろず支援拠点内でも情報を共有し、わからない点はよろず支援拠点の上部団体である中小企業庁や経済産業省へ確認し、いろんなノウハウを蓄積しました。徳島県よろず支援拠点に相談していただいたらある程度の結論は出せると自負していますので引き続き気軽にご相談ください。

#### 2. 申請書の内容

これも極端でした。エクセルで作成したA4資料1枚で申請書とする方。（15枚程度必要なことを説明しました）事業再構築給付金と間違っている人。（これはよろず支援拠点へ相談にお越しになった方の中にもいらっしゃいました。持続化給付金のようになにかわからないけど60百万円もらえる補助金があるらしい……みたいな）あと、申請書の内容がものづくり補助金になっている方も散見されました。事業再構築指針に全く触れずに、この設備をすれば効率がこれだけ上がります的な申請書です。（過去、ものづくり補助金に採択になっている方の事例）このパターンも多かったです。（いや、再構築ですから……）公募要領を読み込めばわかることですが、補助金の考え方が事業再構築補助金とものづく



り補助金では違います。事業者の結論は「この設備が導入したい」と同じですが、その過程（補助事業）が事業再構築補助金ともつくり補助金では大きく違います。それを間違えるとよい申請書を出しても採択になりません。全般的にはよく練られた申請書が多かったような気がします。

余談ですが私個人に「認定支援機関確認書を発行して欲しい。」との連絡が面識のない方からありました。急ぐと思い、「申請書をメールで送って欲しい。」と伝えて、申請書の内容を確認しました。送付されてきたのが例のエクセル1枚です。書き直しをお願いすると今度は内容的には可も無く不可も無くの申請書が14枚程度送付されてきました。但し補助金額が2,990万円（事業総額は60百万円程度）です。30百万円を超える申請には金融機関の確認書が必要ですが、金融機関の協力が得られないのでこの補助金額としたのでは？と勘ぐってしまいます。内容も十分に把握できないため断らせていただきました。私は認定支援機関確認書を発行するためにお金をもらうことはありませんが、やはり自分が納得できない申請書に確認書は難しいです。

## ●私が考える「事業再構築補助金」申請書の書き方留意点

これを書いている段階では第1回目の採択結果が出ていないため、なにが正解かはわかりませんが、私の考えるポイントは以下の2点です。

### 1. 事業再構築指針（事業再構築指針の手引き）との整合性

これは絶対条件です。事業再構築補助金が事業再構築たる所以なので、これが書けていなければその土壌に上がることもできないと考えています。

- たとえば「新事業展開」で申請する場合に
  - ・主たる業種、主たる事業が変更しないこと。（既存事業の売上高が新事業と逆転しないこと。（逆転するのであれば業種転換か事業転換になる）
  - ・製品の新規性要件（過去に製造等した実績がないこと。製造等に用いる必要な

設備を変更すること。定量的に性能又は効能が異なること）

- ・市場の新規性要件（既存製品と新製品等の代替性が低いこと）
  - ・売上高10%要件（新たな製品等の売上高が総売上高の10%以上となること）
- 以上について事業再構築指針の手引きに則ってきちんとした説明が必要であります。

### 2. 新たな事業展開を行って何故、売上高が上がるのか？

私が審査員だとしたらこれを一番重視します。事業再構築補助金はどのタイプでもなにか新しいことをして売上高を上げることが必要となります。今まで日本（世界）にないものを創造して販売するのであれば問題ない（この場合はそれが売れるものかどうかの説明は必要となります）のですが、実際には別の企業が製造している（現在市場がある）分野へ進出して売上高が上がることを申請書で説明しなければなりません。普通に考えるとまったくノウハウがない新規参入者が、その市場で既存の事業者に打ち勝つことが求められます。既存の事業者も今のご時世ですからその市場で苦戦しているのが通例だと思います。言葉は悪いですが、私とその市場に乗り込めば、苦戦している既存事業者を蹴散らして売上高を上げることができる！という説明が求められます。（そのための私の強み+設備（建物）が必要となる）

この説明って難しいですか？  
審査員が「なるほど！これなら後からその市場に進出しても売上高が上がるわな。」と思ってもらえないと採択は難しいと考えます。

### ●よろず支援拠点のセミナー予定

少しでも事業再構築補助金申請書の書き方をアドバイスしましたが、申請書の書き方をもっと知りたい、事業再構築補助金の一番新しい情報が欲しいなどの希望にお応えするため、下記日程でセミナーを開催します。（講師は井上です）

午前中に「小規模事業者持続化補助金の低感染リスク型ビジネス枠」、午後から「事業再構築補助金」のセミナーを行います。その間に個別相談にも対応します。小規模事業

者持続化補助金低感染リスク型ビジネス枠も小規模事業者にとって使い勝手がいい補助金ですので聴いて損はないと思います。  
よろしくお祈りします。

7/29(木)、8/17(火)、9/9(木)、10/19(火)、11/18(木)

場所：とくしま産業振興機構セミナー室及び zoom

時間：小規模事業者持続化補助金の低感染リスク型ビジネス枠セミナー

9:30～10:30

個別相談

10:30～12:00

事業再構築補助金セミナー

13:30～15:30

個別相談

15:30～17:30

公益財団法人とくしま産業振興機構のHP (<https://www.our-think.or.jp>) から申し込みをお願いします。

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

### 徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8  
徳島経済産業会館2階

よろずにゴー  
電話 **088 - 676 - 4625**

HP <https://yorozu-tokushima.jp/>



【平日】9:00～17:45

【休日相談会】●毎週日曜日

10:00～17:00  
徳島駅前ポツポ街

●毎週土曜日

10:15～17:00  
アミコビル9F

（最新情報を確認して下さい）



新型コロナウイルスに関する経営相談窓口を設置しております。  
相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。